

Creators of SOLAN

みんな元気いっぱいです！

第2クォーターが始まり、もう一週間過ぎました。あっという間でした。それぐらい、日々充実しています。子どもたちは、毎日元気に学校生活を楽しんでいます。

7月7日は七夕でした。その日に向けて七夕飾ろうということになり、笹を用意していただき、飾り作りに取り組みました。子どもたちは、休み時間になると後ろの机の周りに集まって、おしゃべりしながら飾り作りを楽しんでいました。「1-1がせかいいちのがっきゅうになりますように」「いいかぞくでありますように」「学校でしあわせにべんきょうができますように」「いぬのペットがほしいです」など、お願い事はさまざまです。心を込めて書いた願い事が、叶えられるといいなあと思いながら、子どもたちの短冊を眺めています。

これから、さらに暑い日が続きます。体調にはくれぐれも気をつけながら、教科の学習やプロジェクト、探究の学習など、様々な活動を通して、成長して行ってほしいです。



げきがしたい！

「みんな、おおきなかぶの学習では、何に取り組んでみたいですか？」と子どもたちに問いかけると、「ハイ！ハイ！」と発言を求める子どもたちの元気な声。「はなのみちでは、おんどくげきをしたから、こんどはげきがしたい！」という思いを伝えてくれました。みんなと意見交換をした結果、学習のゴールとしては劇をすることになりました。まず、劇ってどのようなものをイメージをしているのか、互いの思いを共有するために、おおきなかぶの劇をしている動画を見せました。みんな興味津々！「いしょうをつくらなきゃ」「うごきをいれないと」「せりふもかんがえないと」と、どんどんアイデアが浮かびます。しかし、国語の学習で身につけるべき資質・能力があります。「すぐに劇ができるの？」と問いかけると、「うーん」というつぶやきが。

「せんせい、このおはなしのなかみをりかいないといけない。そして、おはなしのなかみをりかいて、じぶんたちのげきをつくらないといけない」とある子どもが答えました。このように、子どもと対話しながら「おおきなかぶ」の学習計画を立てました。教師が与えるだけではなく、子どもたち自身が、どのように学習を進めていけよいかということを考える経験も重視していきたいと思います。それによって、主体的な授業への参加が期待できます。まずは読み取るところからです。どのような劇になるのか、今からとても楽しみです。



生き物いっぱい！

子どもたちが育てているアサガオは、ぐんぐん成長し、花がさいています。つるもすぐくのびて、隣の鉢にまきついているものもたくさんあります。雨が降って、なかなか外へ観察に行けないのが残念ですが、少しでも晴れ間がみえると、アサガオの様子をみにいっています。また、メダカが1-1と1-2の間の廊下に登場しました。以前、教室で買っていましたが、全滅でした。今度こそは、死なせずに、しっかりと育てていきたい！という子どもの意気込みはすごいです。さあ、どうなるでしょうか。

